

日本健康運動看護学会誌投稿規定

1. 本誌への投稿筆頭者は日本健康運動看護学会会員であることを原則とする。
2. 投稿原稿は、健康運動看護に関する内容とする。
3. 他誌に発表された原稿（印刷中、投稿中も含む）の投稿は認めない。
4. 掲載論文の著作権は日本健康運動看護学会に帰属する。「著作権委譲承諾書」には著者全員の自筆自署を要する。
5. 一度投稿された原稿の差し替えには応じない。
6. 本誌は原則として投稿原稿およびその他によって構成される。
 - 1) 投稿原稿の種類とその内容は表1のとおりとする（制限頁数は図表を含む）。
 - 2) 本誌には上記のほか編集委員会が認めたものを掲載する。
 - 3) 投稿原稿のうち、原著の構成は原則として表2のとおりとする。
（表2の構成によらない場合は投稿の際その理由を付す）
 - 4) 活動報告は、健康運動に関する活動を通して得た知見であって、類似の活動を行う際の参考となる内容の報告とする。構成は表3の例を参考に、制限頁数は10頁とし、少ない頁数でも可能とする。
7. 投稿料および掲載料は無料とする。投稿料および掲載料は理事会の議を経て変更することがある。
8. 編集委員会は投稿原稿について修正を求めることがある。修正を求められた原稿はできるだけ速やかに再投稿する。返送から6か月以上経過した場合は、投稿取り下げとみなす。なおこの原稿について新たな投稿は妨げない。編集委員会で修正を求められ再投稿する場合は、修正箇所を下線等で明示した原稿と、指摘された事項への対応を具体的に説明する回答を別に付ける。

表1 投稿原稿の種類

種類	内容	制限頁
1. 総説 Review Article	研究・調査論文の知見の総括および系統的かつ総合的な解説	12頁
2. 原著 Original Article	独創的な新たな知見を科学的に提示しており、学術や社会にとって意義の高い論文	10頁
3. 活動報告・資料 Report・Information	健康運動に関する実践報告、地域での取り組み、事例報告	10頁
4. その他 Letter	掲載論文等に対する意見、海外事情、関連学術集会の報告など	1頁

（刷上り1頁はほぼ1,800字に相当する）

表2 投稿原稿の構成

項目	準ずる項目	内容
抄録	要旨、まとめ	目的・方法・結果・結論にわけて、見出しをつけて記載すること。（1,000字以内）
キーワード		6個以内
I 緒言	はじめに、まえがき	研究の背景・目的
II 研究方法	方法と対象・材料等	研究・調査・実験・解析に関する手法の記述および資料・材料の集め方
III 研究結果	研究成績	研究等の結果・成績
IV 考察	考察	結果の考察・評価
V 結語	おわりに、あとがき	結論（省略も可）
謝辞等		謝辞、当該研究への助成や便宜供与など
文献		文献の記載は8.14に従う

表 3 健康運動看護活動報告の構成 (例)

項 目	準ずる項目	内 容
抄 録	要旨, まとめ	目的・方法・活動内容, 結論にわけて, 見出しをつけて記載すること. (1,000 字以内)
キーワード		(6 個以内)
I はじめに	まえがき	活動の背景や目標, 報告の目的
II 方 法	方法と対象	報告に用いた資料, 活動の対象や地域, 検討の方法
III 活動内容	活動結果	活動内容や取り組みの特徴, 活動の結果や継続性, 資金や人材の効率性
IV 考 察	考察	活動およびその結果の検討, 活動を通じて得られた知見, 教訓や課題, 他事業に応用できる点や特殊な点
V おわりに	あとがき, 結論	今後の活動への示唆 (省略も可)
謝辞等		謝辞, 当該研究への助成や便宜供与など
文 献		文献の記載は 9.14) に従う

9. 投稿原稿の執筆要領

- 1) A4 サイズまたはレターサイズに, 横書き 25 字×32 行として作成する. 数字およびアルファベットは原則として半角とする. なお, この書式から大きく逸脱し, または制限頁数 (表 1) を大幅に超過する場合は返却することがある.
- 2) 新仮名遣いを用い, できるだけ簡潔に記述する. 誤字やあて字が多く, 日本文として理解が困難な場合や, 文法上の誤りなどで英文として理解が困難な場合は返却することがある.
- 3) 投稿原稿は日本語とする.
- 4) 数字は算用数字を用い, 単位や符号は慣用のものを用いる.
- 5) 特殊な, あるいは特定分野のみで用いられている単位, 符号, 略号ならびに表現には簡単な説明を加える.
- 6) 外来語は片仮名で書く. 外国人名や適当な日本語訳のない術語などは原綴を用いる.
- 7) 年の表記は, 原則西暦を用いる. 元号表記は, 行政資料の名称などどうしても必要な場合のみとする.
- 8) 図, 表および写真には図 1, 表 1 および写真 1 などの番号をつける. 表は 1 頁に 1 つとする (図, 写真についても同じ). 図・表フォントを埋め込んだ印刷に十分な解像度 (図は 300~400dpi) で作成された PDF ファイルとしての提出を求める. カラーで提出された図は, PDF ファイルによる電子出版ではカラーの図として出版するので, 電子出版の場合も特にグレースケールを求める図は最初からグレースケールの図で提出すること.
- 9) 原稿の表紙には表題, 英文表題, 著者名, 所属機関名, 希望する原稿の種類, 別刷必要部数, 原稿枚数 (総文字数÷1,800 字), 図表および写真の枚数, 編集委員会への連絡事項および投稿論文責任著者の氏名および連絡先 (所属機関, 所在地, 電話, ファクシミリ, 電子メールアドレス) を記す. 異なる機関に属する者が共著である場合は, 各所属機関に番号をつけて氏名欄の下に一括して示し, その番号を対応する著者の氏名の右肩に記す.
- 10) 原稿には 400 語以内の英文抄録をつける. ただし, 活動報告・資料, その他については, これを省略することができる. 英文抄録には表題, 著者名, 所属機関名, キーワードを記し, 構成は, 和文抄録 (表 2) と同じく, 目的(Objectives)・方法 (Methods)・結果 (Results)・結論 (Conclusion) にわけて, 見出しをつけて記載すること. 英文については, 専門家によるチェックを受けること.
- 11) 投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は, 研究着手, 研究計画, 研究実施, 研究成果公開のすべての過程において倫理的な配慮がなされていることとする. 倫理審査委員会の承認を得て実施した研究は, 承認した倫理審査委員会の名称および承認年月日を本文中 (方法) に記載する.
- 12) 当該研究遂行や論文作成に際して, 企業・団体等から研究費助成, 試料提供, 便宜供与などの経済的支援を受けた場合は, 謝辞等にその旨を記載しなければならない.

13) 研究の遂行や論文作成における利益相反の有無を記載する。

利益相反：外部との経済的利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断を損なわれる、または損なわれているのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態（厚生労働科学研究における利益相反の管理に関する指針、平成 20 年 3 月）

14) 文献の記載様式

- (1) 文献は本文の引用個所の肩に 1), 1-5), 1,3-5)などの番号で示し、本文の最後一括して引用番号順に記載する。文献の著者が 3 人までは全員、4 人以上の場合は 3 人までを挙げ、4 人目以降は省略して、3 人の著者名 + 『, 他.』とする。英文の文献で著者が 4 人以上の場合は、3 人の著者名 + 『, et al.』とする。
- (2) 雑誌名はその雑誌が使用している略名がある場合は使用してもよい。ただし、その場合は原則としてすべての文献の雑誌名について略名を使用すること。
- (3) 記載方法は下記の例に従う。

① 雑誌の場合

著者名. 表題. 雑誌名 発行年（西暦）；巻（号）：頁-頁.

- 1) 田中博, 山田さくら, 中村沙織, 他. 他職種における運動・スポーツを通じた健康づくり支援の検討. 日本健康運動看護学会誌 2017 ; 3 (8) : 22-32.
- 2) Sheppard JP, Singh S, Fletcher K, et al. Impact of age and sex on primary preventive treatment for cardiovascular disease in the West Midlands,UK: cross sectional study. BMJ 2012 Jul;345(1):e4535.

② 単行本の場合

著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行所所在地：発行所. 発行年（西暦）；頁-頁.

- 3) 鈴木正和. 特定健康診査・特定保健指導における運動支援の意義と方法. 佐藤隆, 中村仁和, 渡辺由美子, 編. 特定健康診査・特定保健指導における運動支援における課題. 東京：日本看護協会. 2018 ; 88-108.
 - 4) Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. Modern Epidemiology. 3rd ed. Philadelphia: Lippincott Williams&Wilkins. 2008;258-282.
- (4) 原則として、特殊な報告書、投稿中原稿、私信などで一般的に入手不可能な資料は文献としての引用を差し控える。
- (5) インターネットのサイトは、他に適切な資料が得られない場合のみ文献として使用してもよいこととする。この場合は、サイト名とアドレスを簡潔かつ明確に記載するとともに、アクセスした年月日も付記すること。
- 5) 厚生労働省. 平成 21 年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況（速報値）について. 2011. http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakai-hosyo/iryouseido01/dl/info02a_1.pdf(2018 年 2 月 22 日アクセス可能).
 - 6) Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan. Comprehensive survey of living conditions. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/dl/05.pdf>. (2018年2月22日アクセス可能).

10. 投稿は、原則として以下のファイル（①表紙・和文抄録・英文抄録（ある場合）・本文、②表、③図、④著作権委譲承諾書・COI 自己申告書）を学会専用メール添付にて行う。④は PDF ファイルで、それぞれアップロードする。①には通して行番号を付与する。

11. 投稿メールアドレス：sports-nurse@jasfn.jp

12. 投稿原稿の採否は編集委員会で審議し決定する。

13. 著者の校正は原則 1 回とし、内容の加筆・修正は認めない。